



「失敗を恐れるな」

校長 渡崎 次郎

時は平成6年5月21日。ここは長崎県立総合運動公園陸上競技場。雲一つない青空の下、長崎県陸上選手権大会が開催されている。

「さあ、男子やり投げ。いよいよ最後の投擲者は、渡崎君。」アナウンスの声が競技場に響き渡り、緊張した私は助走路に立った。ありったけの力を右手に込めてやりを握りしめ、目はまっすぐ前を見つめていた。「私は何をしているのだろうか？」頭の中は真っ白だった。確かに高校時代は陸上選手だったが、専門種目は短距離とハードルだったはず。

「次郎先生、ガンバレー！」生徒の声で我に返った。生徒の横には嫁さんもいた。「そうだ、思い出した。嫁さんのためにも頑張らなければ。」審判員の白旗が振られ、私は右足から助走を始めた。

平成6年5月4日、私は嫁さんと結婚した。結婚祝いにと、陸上部の顧問の先生から、やり投げ専用のスパイクをいただいた。顧問の先生は陸上競技が専門の体育の先生で、4月に転勤して来られたばかりだった。私は副顧問をしていたが、生徒と一緒にその先生の指導を受けていた。生徒が練習しているやりを投げ返していると、「次郎先生、肩強いね。やり投げ向いてるかもよ。」「そうですか。投げたことないんですけどね。えへへ。」ほめられていい気になっている私がいた。女子用のやりなのに。「結婚祝いにいいものをやるけんね。」というわけでスパイクをいただいたのだが、他にもプレゼントがあった。そのプレゼントというのが、「長崎県陸上選手権大会へのエントリー」だったのである。正直びっくりした。県選手権大会とは、国体の予選も兼ねていて、一般の人だけでなく、高校生も出場する。高校生にとっては、高校総体に次ぐ大きな大会である。そんな大会に私が出ていいはずがない。でも、2万数千円もするスパイクを買ってもらっておきながら、断ることはできなかった。

その年、やり投げにエントリーしていたのは、高校生48名、一般2名であった。一人が私で、もう一人は昨年の優勝者の〇〇君であった。陸上競技の投擲種目は、記録の悪い順に投げる。だから、本来なら初心者の私は最初に投げるべきなのである。しかし、エントリーが遅かったために、なんと、なんとなんと、最終投擲者になってしまっていたのだ。つまり、昨年の優勝者の〇〇君の次に投げなければならないのである。当然、高校生たちは私に注目した。「誰？あの人。知ってる？」「うんにゃ、知らん。でも、〇〇さんより後やけん、すごか人やろ。」などと言っている。「お前ら、見たら分かるやろ。」と思いながらも、かっこつけている私がいた。そうこうしているうちに、試合が始まった。

「続いての投擲者は〇〇君。昨年の優勝者です。」アナウンスのおかげで、男子やり投げに注目が集まった。その熱い視線の中、〇〇君の投げたやりは、まるで生き物のように、お尻を震わせながら、大きな放物線を描いてフィールドに突き刺さった。「ウオー！」という大歓声が巻き起こった。さすがは昨年の優勝者。50mを大きく超えていた。会場が大興奮に包まれる中、私はイヤな予感がしていた。そう、会場にいる全ての人の視線が私に注がれていたのだ。

「さあ、男子やり投げ。いよいよ最後の投擲者は、渡崎君。」審判員の白旗が振られ、私は右足から助走を始めた。助走しながら自分に言い聞かせたことがある。「俺は物理の教員だ。斜方投射は大得意。」「オリャー！」という雄叫びとともに、私の手を離れたやりは、まるで生き物のように、ぐるぐる横に回りながら、20m先のフィールドに墜落した。静まり返った会場から、「あの人、かわいそうかね。」という声が聞こえた。私のやり投げデビュー戦はこうして終わった。

初心者なので仕方ないと思いながらも、悔しい思いがこみ上げてきた。それから半年間。生徒より早くグラウンドに出て、一生懸命練習した。本やビデオで勉強し、顧問の先生にレポートを提出したりした。そして、11月、長崎県民体育祭で47m64cmを投げ、決勝に進出し、7位になることができた。さらに、平成21年の長崎県民体育祭（40歳代の部）では、とうとう優勝してしまった（ちょっぴり自慢、えっへん）。

豊玉高校の生徒諸君。失敗を恐れるな。失敗しても、その悔しい気持ちが君たちを成長させる。君たちは無限の可能性を秘めている。志を立て、一生懸命努力しよう。私たちは君たちを全力で応援する。パワー！！

高総体壮行式・PTCA支援活動



6月1日（水）に高総体壮行式が行われ、PTCA支援活動として保護者の皆様がカレー・からあげをふるまってくださいました。保護者の皆様、ありがとうございました。さらに高総体壮行式では「豊高パワーレンジャー」が誕生し、豊高生にパワーを与えていきました。正体は不明ですが、豊高生を応援していることは間違いのないようです！



豊高パワーレンジャー誕生！

高総体結果報告 6月4日(土)~7日(火)



陸上競技部

主将 阿比留 晴樹

高総体では楽しむこと、自己ベスト更新を目標に競技に臨みました。これからは1年生のみの部となります。今後は高い目標を持って試合に挑んでほしいと思います。3人で不安になることもあるかもしれませんが、君たちなら大丈夫だと信じています。教室の窓から見ているのでいつでも質問してくださいね。全力で応援したいと思います。

【男子100m】
齊藤 瑛広 14.15
齋藤 宰論 12.65

【男子200m】
齋藤 宰論 25.99
齊藤 瑛広 28.97

【女子200m】
阿比留 環 29.83
【女子400m】
阿比留 環 1:09.53
【女子1500m】
田中 璃海 5:42.66
【女子3000m】
田中 璃海 DNF

【女子やり投】
田中 優良 28m49
草葉 理未 約23m00
【女子砲丸投】
草葉 理未 約7m00
【女子走幅跳】
田中 優良 約4m25

高総体結果報告 6月4日(土)~7日(火)



バスケットボール部 主将 阿比留 光希

私たちは西陵高校と対戦し、137対27で敗退しました。今回は敗退してしまいましたが、昨年のウインターカップで1勝することができ良かったです。このメンバーで3年間バスケットボールをできて本当に良かったです。1・2年生の皆さんは人数が少なくなり、大変なことがあると思いますが、私たち3年生もそのような状況を乗り越えてきたので頑張ってください。3年生一同応援しています。



男子ソフトテニス部 主将 平江 真佐斗

個人戦は4ペア中3ペアが一回戦敗退、1ペアが二回戦敗退という結果でした。団体戦は、一回戦で大崎高校に勝利し、二回戦で上対馬高校に敗退しました。納得のいかない結果でしたが、悔いの残らない試合ができたと思います。3年生はこれで終わりましたが、1・2年生には、これからの大会で、悔いの残らない楽しい試合をしてほしいと思います。



女子ソフトテニス部 主将 高雄 未来

団体戦では佐世保工業高校と対戦して1-2で敗退しました。個人戦では高雄・安野ペアが佐世保西高校に0-4で敗退し、今泉・永留ペアが長崎日大高校に1-4で敗退し、鶴山・山口ペアが長崎明誠高校に2-4で敗退しました。どのペアも自分達なりに良いプレーをすることができました。1・2年生も来年の高総体に向けて良い結果を残すことができるように、チームで団結して頑張ってください。

校内謎解きツアー

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、歓迎遠足の代わりに校内謎解きツアーを行いました。ゾンビになってしまった生徒会役員を救うという設定のもと、学年の枠を越えてグループを組み、協力して謎解きに挑みました。これまで話したことのなかった人と話せた人もいたようです。皆で楽しい時を過ごしました。



PTCA除草・植栽・オリーブ播種活動



6月11日(土)、あいにくの雨模様でしたが、本校グラウンド周辺の除草作業を行い、色とりどりの花を植えました。生徒と職員に加え、保護者の方々、そして地域の方々にもご協力いただき、とてもきれいになりました。ありがとうございました。その後予定していたオリーブ播種は、後日、生徒と職員で行いました。このオリーブは、来年度迎える本校創立50周年記念のシンボルツリーになる予定です。芽吹く日をみんなで楽しみに待ちたいと思います。



7月・8月の行事予定

7月2日(土)	進研記述・実力診断・基礎力診断テスト・公務員模試
7月3日(日)	ビジネス文書実務検定
7月5日(火)	生徒会役員退任式・任命式
7月8日(金)	漢字検定
7月13日(水)	心の健康講話
7月15日(金)	3年ステップ基礎小論文模試
7月16日(土)	3年就職模試・公務員模試
7月20日(水)	防犯講話・大掃除・終業式
7月21日(木)	夏期集中講座(ー7/26)
7月27日(水)	2年インターンシップ(ー7/29) 夏期補習(ー8/3)

8月3日(水)	3年就職模試
8月9日(火)	登校日・平和学習・容儀検査
8月10日(水)	学校閉庁日(ー8/16)
8月18日(木)	夏期集中講座(ー8/23)
8月19日(金)	豊高オープンスクール
8月26日(金)	2・3年看護医療模試



PTCA会長
佐伯様が
作成して
ください
ました!

豊玉高校ホームページは
こちらから



豊玉高校紹介動画は
こちらから

